

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年2月1日 (2018.2.1)

【公表番号】特表2017-500403(P2017-500403A)

【公表日】平成29年1月5日 (2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-001

【出願番号】特願2016-538804(P2016-538804)

【国際特許分類】

C 0 8 L 21/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 3/36 (2006.01)

B 6 0 C 1/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 21/00

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 3/36

B 6 0 C 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月5日 (2017.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも以下に基づくゴム組成物：

- ・エラストマーマトリックス、
- ・補強用充填剤、
- ・ピッチ系炭素繊維、

であって、可塑剤を含んでいてもよい前記ゴム組成物を含むトレッドを備えるタイヤであって、

z は、走行面と接触していることを意図したトレッド表面に垂直な方向であり、x および y は z に直交する 2 つの方向であり、x はタイヤの円周方向であり、y はタイヤの回転軸に対して軸方向であり、C x、C y および C z は、それぞれ x、y および z 方向において硬化状態のトレッドの 25 で測定された熱拡散率であり、

2 超の熱拡散率比 C z / C x および C z / C y を有するタイヤ。

【請求項 2】

前記エラストマーマトリックスがジエンエラストマーを含む、請求項 1 に記載のタイヤ。

【請求項 3】

前記ゴム組成物が可塑剤を含む、請求項 1 および 2 のいずれか 1 項に記載のタイヤ。

【請求項 4】

可塑剤の質量と、可塑剤およびエラストマーマトリックスの質量の合計との比が 0 . 3 5 超である、請求項 3 に記載のタイヤ。

【請求項 5】

前記ピッチ系炭素繊維のゴム組成物中における体積分率が 1 ~ 15 % にわたる範囲内で変わる、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載のタイヤ。

## 【請求項 6】

前記補強用充填剤がカーボンブラック又は無機充填剤を含む、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載のタイヤ。

## 【請求項 7】

前記無機充填剤がシリカである、請求項 6 に記載のタイヤ。

## 【請求項 8】

前記無機充填剤が補強用充填剤の 50 質量%超である、請求項 6 又は 7 に記載のタイヤ。

## 【請求項 9】

前記熱拡散率比  $C_z / C_x$  および  $C_z / C_y$  が 3 超であるか又は 4 以上である、請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項に記載のタイヤ。

## 【請求項 10】

請求項 1 から 9 までのいずれか 1 項に規定されるゴム組成物からなる層であって、前記層が、2 超の熱拡散率比  $C'_{z'} / C'_{x'}$  および  $C'_{z'} / C'_{y'}$  を有し、

・  $C'_{x'}$ 、 $C'_{y'}$  および  $C'_{z'}$  は、硬化状態での 25 で測定した、それぞれ  $x'$ 、 $y'$  および  $z'$  方向の熱拡散率であり、

・  $x'$ 、 $y'$  および  $z'$  は互いに直交する方向であり、 $z'$  が炭素繊維の優先的方向である、層。

## 【請求項 11】

$y'$  および  $z'$  が層の中央平面を規定し、 $x'$  が中央平面 ( $y'z'$ ) に直交する方向である、請求項 10 に記載の層。

## 【請求項 12】

請求項 11 により定義され、方向  $x'$  に垂直な面に沿って組み立てられた層を並べることにより形成され、方向  $z'$  はタイヤの半径方向と一致する、タイヤのトレッドまたはトレッドの一部。

## 【請求項 13】

$x'$  がタイヤの円周方向と一致する、請求項 12 に記載の、タイヤのトレッドまたはトレッドの一部。